

完全NON-FIT型発電所 パワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電所 商業運転開始

～グリーンエネルギーは使う時代から創る時代へ！地方創生型カーボンニュートラル新産業の創造～

このたび、当社は三重県松阪市において、完全NON-FIT型^{※1}木材・製造業生産副産物ハイブリッド燃料による脱炭素電源開発事業により誕生した「パワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電所」の商業運転を開始しました。

※1 FIT制度とは、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」のことであり、「太陽光」「風力」「水力」「地熱」「バイオマス」のいずれかによる再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度です。

グリーンエネルギーは使う時代から創る時代へ！脱炭素社会実現を切り拓く新発電所

本事業は、バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社（本社：三重県松阪市）が、2021年7月に設立したパワーエイド三重合同会社（本社：同県同市）が建設・運営する、完全NON-FIT型で組成する木材・製造業生産副産物ハイブリッド燃料による脱炭素電源を開発する事業です。

この事業構想に基づいて実現した「パワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電所」が、2025年3月16日より運転を開始いたしました。

【完成したパワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電所】



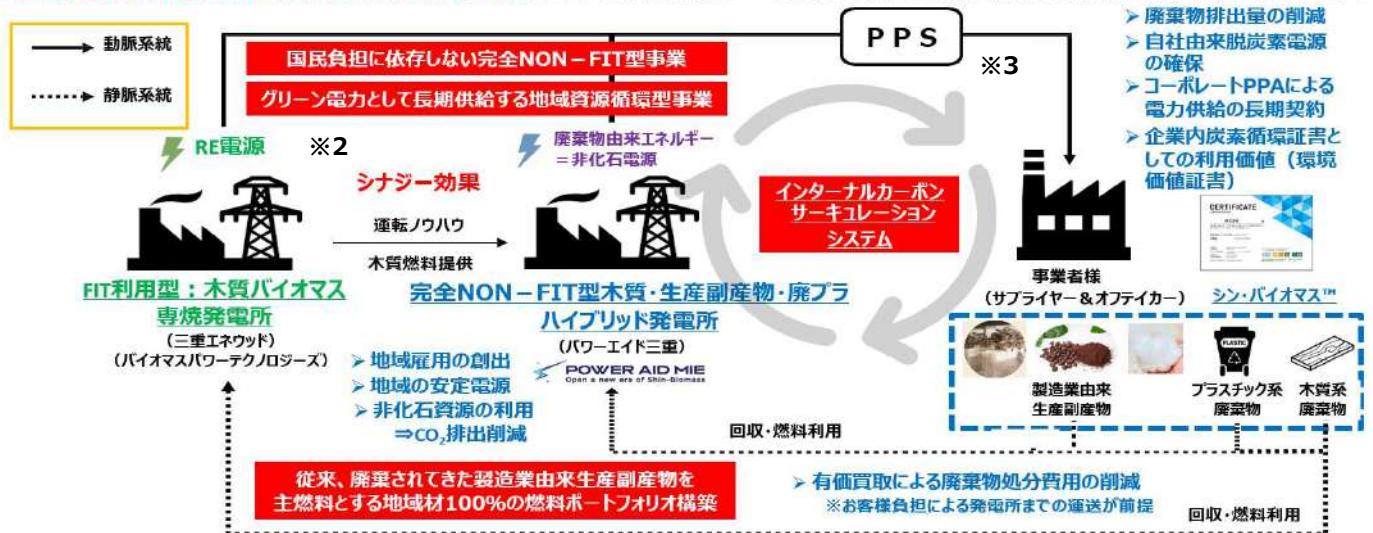
本事業は、事業者さまから回収した木質系生産副産物とプラスチック系資源（以下「RPF」）を発電所でハイブリッド燃料として使用し、事業者さまにグリーン電力として循環させる新たな仕組みであり、私たちはこれを【インターナルカーボンサーキュレーションシステム】と名付けております。このシステムは従来型の廃棄物を廃棄物として処理する方法ではなく、有価物すなわち製造業由来の生産副産物として買い取り、エネルギー資源として利用するものです。私たちはこれを令和時代における新しい燃料コンセプト、【シン・バイオマス®】（商標登録取得）として定義いたしました。

＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

パワーエイド三重合同会社／バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社 経営管理部 広報担当
TEL：0598-67-2561 MAIL：bpt-shared@bpt.co.jp

【インターナルカーボンサーキュレーションシステムの概念図】

事業者様から回収した生産副産物を主燃料として、木質系・プラスチック系廃棄物を発電所にてハイブリッド燃料使用し、事業者様で使用するグリーン電力として長期供給する地域資源循環型の仕組みです。木質系廃棄物はRE電源、プラスチック系廃棄物は非化石電源に位置づけられます。



※2 RE電源とは、「再生可能エネルギー（Renewable Energy）」を利用した電源のことであり、具体的には、石油や石炭、天然ガスといった有限な資源である化石エネルギーとは異なり、太陽光や風力、バイオマス、地熱、水力といった地球資源の一部など自然界に常に存在するエネルギーのことです。その大きな特徴は、「枯渇しない」「どこにでも存在する」「CO₂を排出しない（増加させない）」の3点です。また、企業にとってステークホルダーとなる株主は、SDGsやESGを重視した投資行動をより一層強めており、長期的なリスクを持っていると判断された企業は敬遠されるようになってきています。このように、可能な限り多くの再生可能エネルギーによって、事業活動で消費するエネルギーを調達することが、これからの持続可能な社会をつくりあげていくうえで必要なステータスとなってきています。

※3 PPSとは、「特定規模電気事業者（Power Producer and Supplier）」の略で、50kW以上の特定規模の需要者に対して電気を供給できる事業者を指します。これまで日本の電気供給は、「一般電気事業者」と呼ばれる10社の大手電力会社による電力供給体制がとられてきました。これに対して、PPSは、2000年に行われた電力改革でスタートした電力の部分自由化を機に、電力事業に新規進出した事業者であり、経済産業省は2012年3月からPPSを「新電力」という名称に定義しました。その後、「大手地域電力会社」と「新電力会社」という名称が一般的に使われるようになっていきます。

この【インターナルカーボンサーキュレーションシステム】および【シン・バイオマス®】構想に基づく完全NON-FIT型ハイブリッド発電事業の概要は次表のとおりです。

パワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電事業の概要

運営会社	パワーエイド三重合同会社
設立年月日	2021年（令和3年）7月21日
運転開始	2025年（令和7年）3月16日
職務執行者	パワーエイド三重合同会社 職務執行者／西川 弘純
代表社員	バイオマスパワーテクノロジー株式会社 代表取締役社長／北角 強
会社URL	https://www.power-aid-group.co.jp/
事業地	三重県松阪市木の郷町 24 番地 ※ウッドピア松阪内
出資者	日本アジア投資株式会社、株式会社長谷工コーポレーション、株式会社BMエコモ、株式会社レクスポート、J A三井リース株式会社
社員	三重エネウッド株式会社、大成産業有限会社、株式会社松田石油、ホクト株式会社、RE諏訪湖株式会社、バイオマスパワーテクノロジー株式会社
発電規模	1990kW（株式会社タクマ製ハイブリッド燃焼対応型トラベリングストーカ式ボイラを採用）
年間想定発電量	約1647万kWh（想定送電量：約1515万kWh）
使用燃料	三重県多気町に所在するホクト株式会社三重きのごセンターから排出される廃菌床（使用済み培地）、中部圏の近隣から排出されるリサイクル木材チップおよびRPF
総事業費	約26億円（税込）※株式会社日本格付研究所より、格付最高位であるGreen1のグリーンローン評価を受けた長期借入金にて調達しています。
融資参加金融機関	株式会社みずほ銀行をアレンジャーとする9行でのシンジケートローン

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

パワーエイド三重合同会社／バイオマスパワーテクノロジー株式会社 経営管理部 広報担当

TEL：0598-67-2561 MAIL：bpt-shared@bpt.co.jp

パワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電所 竣工式を 2025 年 4 月 24 日に執り行いました

【テープカットの様子】



【記念撮影】



2025 年 4 月 25 日、三重県松阪市のパワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電所の竣工式を執り行いました。当日は快晴に恵まれ、元環境大臣の原田義昭様、松阪市長の竹上真人様、ウッドピア松阪協同組合代表理事の田中善彦様をはじめとするご来賓の皆様、社外関係者 110 名の方にご臨席賜り、盛大かつ厳粛に式典を挙行することができました。本施設の完成により、今後の事業展開にさらなる弾みがつくものと期待しております。引き続き、地域に根ざした安定した事業運営を目指し、誠実に取り組んでまいります。

私たちはこれからも、パワーエイド三重シン・バイオマス®発電所を皮切りに、地域の生産副産物を利用した「シン・バイオマス®」による完全 NON-FIT 型バイオマス発電事業と、地産地消電力の供給を目指した地域密着型の発電所を全国へと広げ、日本全体の脱炭素化に貢献してまいります。

＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

パワーエイド三重合同会社／バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社 経営管理部 広報担当

TEL：0598-67-2561 MAIL：bpt-shared@bpt.co.jp

